土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

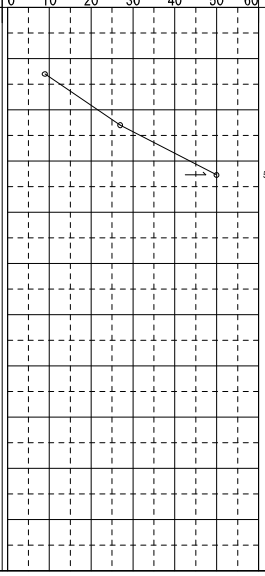
調　　査　　名	一級河川江の川水系忍地沖川測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　ダム・溜池

ボーリング名	No.3	調査位置	広島県庄原市比和町比和　地内	北　緯	34° 59' 10.8238″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和4年12月14日～ 令和4年12月15日	東　経	132° 59' 09.8326″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 453.69m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-C型	
総削孔長	6.00m		エンジン	ヤンマー　NF 110型	ポンプ　東邦地下工機　BG-3C型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	452.69	1.00		黒ぼく		黒褐	rd1		表土～崖錐堆積物 腐植土や細礫の混じる砂質土	12/16 無し
2	451.19	2.50		強風化流紋岩		暗褐			流紋岩の強風化土（DL） 風化著しく、細粒分が混じる砂状～礫の混じる砂状となる。	
3	450.27	3.42		強風化流紋岩		暗褐			流紋岩の強風化岩 風化変質が著しく土丹状コアとして採取される。 軟岩Ⅰ（DH）	
4				風化流紋岩		暗青灰			流紋岩の風化岩 自破砕性の岩で網目状に模様が認められる。 岩質は比較的硬質で深度3.42m～4.9m間は、CM～CHクラス 亀裂に沿って風化し、軟質となる。 深度4.9m～5.8m間は、破砕質で礫状となる。 軟岩Ⅱ（CM）	
5	447.89	5.80								
6	447.69	6.00		流紋岩		暗青灰			流紋岩の弱風化岩 岩質は硬質である。 中硬岩（CH）	
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
9	1.15	3	3	3	9/300							
	1.45											
27	2.15	9	9	9	27/300							
	2.45											
50以上	3.15	10	18	22/40	50/240	240						
	3.39											
												12/15
												12/16